



第二十五号

平成二十七年年度号 (9月10日発行)

「挨拶に代えて」

つづじヶ丘同窓会関西支部

会長 富士昭一

(西高3回生)

平成25年度に関西支部のあり方をあらためて見直しをすることとしましたことは、この『つづじヶ丘だより』第24号で既にご報告いたしました。

本年度は、本校の創立110周年にあたり、その記念誌に「つづじヶ丘同窓会関西支部の歩み」を掲載いたしました。ご挨拶およびこれからの会の存続方針に代えて、その原稿をここに再掲載いたしました。今後の会の方針を模索するにあたり、参考にして戴ければ幸いです。

北海道函館西高等学校創立110周年記念誌
(平成27年5月5日 投稿)

「つづじヶ丘同窓会関西支部の歩み」

関西支部長 富士昭一

関西支部の歴史は100周年記念誌「この坂から」に詳細が記録されていますが、その概要は次の通りです。

昭和11年(1936年)「北海道庁立函館高等女子学校同窓会大阪支部・すずらん会」として、高女11回生寺村初瀬さんが発起人となり第1回総会が開催された。その後戦時中の休会を含め昭和22年(1947年)に再開され、昭和55年に至る迄会長として支部の発展に尽力されました。

昭和55年(1980年)2代目会長は高女26回生出崎せつさんに継承され、昭和59年(1984年)に総会で「函館西高つづじヶ丘同窓会関西支部」を正式名称としました。また本部からは関西支部会旗が寄贈されています。

昭和61年(1986年)3代目会長に高女37回生桜井佳子さんが就任。関西支部会報『つづじヶ丘だより』第1号が発刊され、次第に定期刊行となりました。平成4年(1992年)には西高5回生石原正氏が第4代会長に推挙されましたが、仕事の関係から思うような活動が出来ず、平成7年の阪神淡路大震災とも関連して平成6年から8年の3年間は休会となっていました。

平成9年に新幹事会を結成、会員名簿を整理して総会を再開しました。

平成10年(1998年)第5代会長に西高3回生富士昭一が推挙され現在に至るまで継続していますが、平成25年、26年は休会になりました。

平成18年の創立100周年記念式典には函館ツアーを組んで関西支部から20名が参加しました。平成24年までの15年間は、支部総会を毎年開催、会場を大阪、京都、神戸、を巡回、懇親会のあとは観光案内も行い、参加者は30名前後ですが、関西独特の家庭的雰囲気で大いに盛り上がっていました。

平成23年以降になり、多くの高女卒の先輩の皆様

さんが次第に総会や幹事会への出席が不自由になつてこられ、西高卒のメンバーに代わってきました。幹事の方々も高齢化して新しい若い人がいなくなつてしまいました。総会も出席者が固定化し会員も極端に少なくなつてきましたので、平成25年に関西支部のあり方をあらためて見直しをすることにしました。

支部の活動範囲を縮小せざるをえない。関西二府四県及びその近隣に限定する。先輩諸氏 の 消息を確認する。名簿の整理等順次行いながら関西支部の維持に努めることにしました。これからのどのように対処していくべきか、支部存続の危機に晒されていると言つても過言ではないと危惧しています。

以上

「つづじヶ丘同窓会東京支部」第十六回

総会に出席して

関西支部副会長 橋本輝也

(西高5回生)

平成27年5月16日(土)、東京都文京区のホテル椿山荘東京で第16回東京支部総会・懇親会が開催され、富士会長の代行として出席しましたのでその概要についてご報告致します。

由緒あるホテルの大広間に設置された会場には、各卒業年度別に席が設けられ、今年が東京支部設立30周年でもあり、東京支部の会員約240名が出席。来賓には西高の堂下校長をはじめつづじヶ丘同窓会本部中山会長、同小林副会長、そして白楊ヶ丘同窓会東京支部(中部高校)、関東青雲同窓会(東高校)、東京函館同窓会、函工同窓会関西支部、函館ラサール学園同窓会東京支部の代表

及び幹事の方達多数が出席して、会場は溢れんばかりの盛会でした。

総会終了後、懇親会に入り、東京支部佐々木会長のご挨拶にはじまり中山会長の来賓代表挨拶に続き、堂下校長の活気に満ちた乾杯音頭にて「歓談」の部へ移行しました。歓談・食事中には、有志に依るギター演奏、そして全員で懐かしい「函館港踊り」に興じ、校歌斉唱の後、東京支部応援団OBの力強い演技に乗せられて全員で応援歌を唄い会場が大いに盛り上がりました。

約3時間に亘り大変有意義な参席だったと思います。特に本年は本校が創立110周年を迎える記念の年でもあり、従って堂下校長、本部の中山会長のご挨拶の中でも、10月3日(土)に函館市民会館で行われる記念式典の件を強調されたのが印象に残っています。

会場に設置された24のテーブルでは会員同士が終始和やかな会話を交わし、笑い声が絶えない素晴らしい会合でした。さすがに多数の会員を擁する東京支部のスケールの大きさを改めて感じた次第です。

以上

《昭和六十年頃を振り返って》

本号では、「つつじヶ丘だより」のロゴがまだ現在のロゴに確定していないころの記事を再掲載いたします。ここで取り上げたのは、第3代会長の桜井佳子さん(高女37回)が昭和63年(1988年)にお書きになった記事です。この号が「つつじヶ丘だより」の第1発刊号のようです。

その中に、初代会長の寺村初瀬さんから、出崎せ

つさん、桜井佳子さんと引き継がれた様子など書かれていて、この会も長く続いて来ていることが理解できます。

次のページにこの1年前に開催された総会・懇親会の案内状を掲載いたしました。この総会で第3代会長に桜井佳子さんが就任されました。

この会場は、円山公園の近くにあり、出席者は日帰り組を含めると50人を超えていたように記憶しています。この案内状に記載されている幹事の西高5回生は、石原正さんを始め、橋本輝也さん、小嶋健吉

つつじヶ丘だより

563^号 1988年秋 函館西高同窓会関西支部

あれや、これやの日々

はいいことに恒例の会がもうやって参りました。皆様方にはこの一年間如何お過ごしでしたか。学校を卒業して二十年・三十年イヤイヤもつたっているのですもの、大抵の方はどこかここかおいたみのところもございましょう。どうぞお負けにならずに。

さて、関西支部も三十年以上一生懸命に培われた11回寺村様代から、七年前出崎様に代わり、そして昨年度から私37回桜井が交替し、至りませぬが引き継がせて頂いております。何卒今迄の様に皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

今年も函館も青函博で賑わった様ですが、つつじヶ丘同窓会総会もこの期間内ということ、九月四日五島軒で開かれました。当支部からは、出崎さんと私が出席致し、又東京、札幌、仙台、苫小牧、森の各支部長さん方もお揃いで四百名に近い方々の御参加でした。会長挨拶には精養軒さんの社長 杉村様……と申しましたらあのおいしそうな、ふっくらしたパンノそれを登下校時に横目で見乍ら通学したことが思い出されましよう。未だお若いですが本当に御熱意一杯につとめられて居られます。

又、来賓祝辞には私共のこの会にも度々御出席下さって馴染みの元校長大内先生のおことばがあり式次第はすすめられました。会計報告には各支部への助成金の報告も行われ、私共の支部としては改めて事務局に心より感謝の気持ちでした。

ひきつづきパーティーという順で会は盛り上りその折に創設以来からの校舎のスライドを観、又西高プラスバンドの見事な演奏を聴かせてもらいました。

当番幹事の方々が一生懸命企画し、盛大裡に閉開したのが八時半、あとは三三五五退場。

さあ、その函館にもなななまどの実が赤く色づき秋が駆け足でやって来ました。

実は私は唯今娘の出産で小樽に居り、函館と関西を偲びつつ御挨拶と報告をさせて頂いております。その様なわけで御案内の方も気になりながら少々おくれましたこと、本当に申し訳なく思っておりますが、皆様方のおめじを心より楽しみに致しております。

(小樽にて)

桜井佳子

さんの諸先輩方で、桜井会長の覚えもめでたく活躍でした。当時の監査役及び事務総括は小林友子さん(高女37回生)で、これらの方々が会を支えておられました。



初代会長寺村初瀬さん(左)と2代目会長の出崎せつさん(昭和55年撮影)

さあ久し振りの京都です。それは温泉です。そんなコロがあったのか?と思われる程、京都市内では数少ない温泉ホテルです。ゆっくり泊。命の洗濯! 少しでもは都合を曲げて。ぜひおこしやす!
ホテルの紹介は同封パンフでどうぞ。来られる時は、とにかくタクシーに乗って下さい。50枚以上の人には、あの坂はキツイのです。ホテルのまわりは、観光目玉がギッシリ、ゆきで帰っても、ゆっくり散策できます。

記

日時 10月10日(土祝) 午後3時頃4エックイン
ゆくり温泉に入ってから " 5時30分総会
すじ宴会(懐石料理) " 8時30分肉会
10月11日(日) 午前8時 朝食
" 10時4エックアウト

会費 泊川 13,000円 (写真代含む)
日帰川 8,000円

年会費 1,000円 (郵便振込可)

*今回ご欠席の方は、年会費を同封用紙にお振込下さい。

※ 函館西高等学校同窓会
関西支部 西高五回生幹事一同 ※

昭和62年度つつじヶ丘同窓会関西支部総会・懇親会の案内状

《会員・旧会員の皆様からの「寄付」》

会報24号などをご覧になった会員・旧会員2名の方々あるいは会の存続を応援して下さる会員の方から計3件の「寄付をいただきました。幹事一同、心から感謝しております。御礼申し上げます。

(平成26年度会計分、計3件を掲載)

(ここに、富士博司様から会員の皆様へのお手紙を

掲載させていただきます。

函館西高「つつじヶ丘同窓会」

関西支部の皆さまへ

拝啓

寒さもやつと少しはゆるんできたようで皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。

関西を出て故郷函館に帰り早いもので4年が経ちました。関西在住中は、富士会長様はじめ支部の方々大変お世話になりました。若手としてもお手伝いをしたかったです。現役で国内線とはいえ年に120日に及ぶ出張生活と子育てといろいろと振り返ると本当に忙しい時期であったように思います。職種の特性から支部の諸先輩方に十分なお手伝いが出来なかったことを今でも申し訳なく思っております。

先日、富士会長様より、「つつじヶ丘だより」を送っていただき関西支部の現状を知らされて何とも言えぬ寂しい気持ちで一杯になりました。これも時代の流れなのか仕方のないことかも知れません。私が初めて関西支部の総会に出させていただいたのは平成10年頃だったように思います。京都の日航ホテルで美術の伊達先生と思ってもよらぬ再会と関西にこんななたくさんの頼もしい西高の先輩方がいらつしやったことは本当に頼もしい限りでありました。約12年お世話になったご恩は、決して忘れません。あらためて厚くお礼申しあげます。

心ばかりですが西高「つつじヶ丘同窓会」関西支部に少しでもお役に立てただければ幸いです。少ないですが寄付させていただきます。また是非、帰函の際には、お気軽に声をかけてください。

寒暖定まらぬ時期ですが皆さまどうぞご自愛ください。
乱筆ながら皆さまのますますの今後のご健勝とご多幸をお祈りしております。

敬具

平成 27 年 3 月 11 日
26 回 生 福 士 博 司

《アンケート回答のお願い》

会員の皆様の消息と次号からの「つつじヶ丘だより」送付希望の有無を同封のハガキでご回答下さい。また、今後の会の在り方についても、参考にさせていただきます。皆様のご意見を賜れば幸いです。
なお、会員ご本人が回答不能の場合には、ご家族の方が、消息をご記入のうえ、ご返信いただくようお願い申し上げます。

予告

関西つつじヶ丘同窓会開催のお知らせ

本年度 11 月中旬に、総会・懇親会を開く予定にしております。
日時・会場が決まり次第、案内状を送付いたします。
平成 25 年度、26 年度と 2 年間の空白がありました。今後の会の活動方針などが議題となる予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

平成 26 年度 収支 会計 報告

自 平成 26 年 4 月 1 日
至 平成 27 年 3 月 31 日

収入の部	金額(円)	支出の部	金額(円)
前年度繰越金	211,712	通信費:切手代、メール便代	13,508
本部からの補助金	30,000	旅費:神戸-函館往復	42,950
寄付金 3件	20,395	宿泊費:函館1泊	7,560
		会誌印刷用A3版厚手用紙	1,364
		会誌リソグラフ印刷代	1,040
		雑費:事務用品	3,782
		次年度繰越金	191,903
合計	262,107	合計	262,107

《幹事からのお願い》

前号でもお知らせ致しましたが、会員からは当分の間年会費を徴収せず会を運営し、幹事が中心となり、会の維持のための努力を惜しまない覚悟でおります。御賛同いただける方は、幹事にお声を掛けて下さるようお願い申し上げます。

- 会長 富士昭一 (西高 3 回生)
- 副会長 橋本輝也 (西高 5 回生)
- 幹事長 岡本忠篤 (西高 8 回生)
- 森川二三子 (西高 4 回生)
- 中村 浩 (西高 9 回生)
- 小林敏行 (西高 10 回生)
- 水島勝寿 (西高 11 回生)
- 田端冴子 (西高 14 回生)
- 中谷 基 (西高 20 回生)

編集後記

前号でも述べたように、会を今までのように維持していくのは困難である。しかし、寺村会長の時代から通算すると、この「つつじヶ丘同窓会関西支部」は 40 年以上も続いている支部である。さらに「高女同窓会大坂支部・すずらん会」から起算すると 70 年以上に及ぶ。会を終息させるのは忍び難いものがある。

本号では、桜井元会長の原稿を復刻版で掲載した。他にも、石原正さんなどのまだ未刊行の原稿などが手もとにある。そこで、出来る限りこの「つつじヶ丘だより」の刊行だけでも継続させたいと考えている。
(中村浩 記)